市有建築物の現状、保全・管理のポイント、公共建築物に係る情報などをお知らせします。

たてもの保全活用通信

発行日：平成26年11月25日
発行者：建築課施設計画係、行政管理課施設活用係
編　集：細谷、勝俣、古谷

HOZEN GIRLS Vol. 4

1 取扱説明書で清掃方法を確認する

紛失してしまった場合は、メーカーのHPからダウンロードします。

＊この清掃手順は代表例です。必ず、取扱説明書に指示に従って実施してください。

2 吸込グリルを開けフィルターを取り出す

3 フィルターのほこりを取り水洗いして乾かす

汚れがひどい場合は、掃除機で吸い取ります。

＊フィルターを傷つけないよう丁寧に。

ブラシを使って水洗いし、陰干しして乾かします。

清掃中はエアコンを使用できません。

4 フィルターを取り付け吸込グリルを閉じる

5 リモコンにフィルター清掃時期の表示がある場合は、リセットする

エアコン

今回清掃したのはこのタイプ▼

冷暖房使用前に エアコンの フィルター清掃を

エアコンフィルターは清掃が必要です

秋も深まり、これから暖房が活躍する季節になります。本格稼働前に、エアコンフィルターの清掃をしましょう。

フィルター清掃をしないと、冷房効果・暖房効果が著しく低下する、電気代が余計に掛かる、故障しやすくなる、部屋の空気が臭くなるという問題が発生します。

清掃をしないと電力の25％が無駄に

こまめに清掃をしないと、フィルターにホコリがたまり目詰まりを起こします。これを放っておくと運転の負荷が増え、電気代が余分にかかります。

フィルターの清掃を1年間しない場合、約25％の電力が無駄になるというデータもあります。

健康にも影響が

エアコン内部はその構成上、湿度が高くなるため、ダニやカビの絶好の繁殖場所となってしまいます。内部の汚れを放置すると、エアコン自身がダニやカビ、粉じんを巻き散らかす原因ともなりかねません。

この様な健康への影響を防ぐ上でも、フィルターの清掃を定期的に行うことは、重要です。

最重要事項！ 清掃時の安全確保

脚立や踏台を使用する際は、取扱説明書や脚立本体に貼られているラベルの内容をよく読み、指示に従ってください。また、疲れている日は避け、作業は複数名で行いましょう（脚立・踏台の使い方は次頁）。

なお、2m程度の脚立を使っても届かない高所の場合は、専門の作業員への委託を検討しましょう。

職員課柳田さんにご協力いただき、福利厚生室で清掃レクチャーをしました。

脚立・踏台の使い方

脚立や踏台から墜落・転落し、重篤な被害となる場合があります。
取扱説明書や脚立本体に貼られたラベルの内容をよく読み、安全に作業を行ってください。

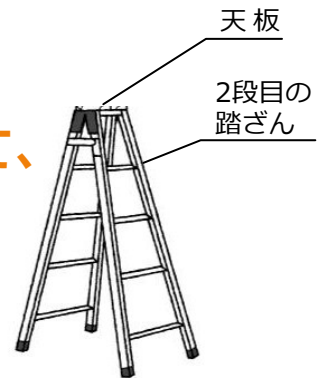
代表的な注意事項

★腐食・金具の故障・踏ざんのがたつきなどの異常がないか確認してから使いましょう

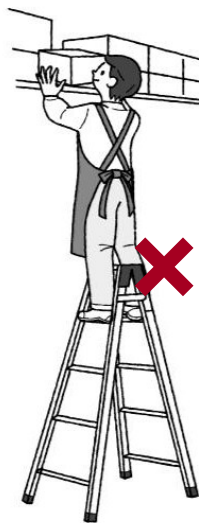
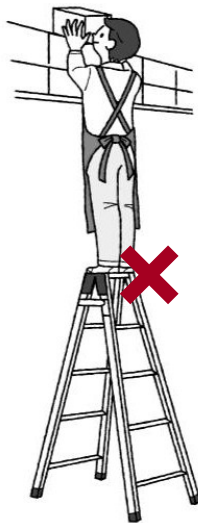
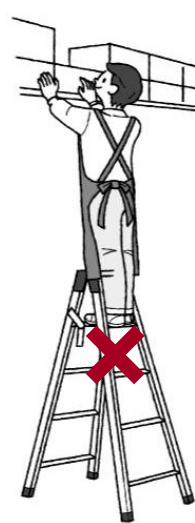
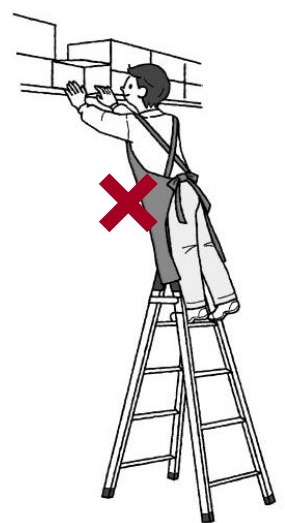
★作業は補助者と行いましょう

＊補助者は脚立をおさえたり、荷物の受け渡しをします

★２段目以下の踏ざんに乗り、天板に身体を当て、安定させた状態で作業をしましょう

＊踏台は天板に乗ることができます
＊2m以上の高さの脚立は、３段目以下の踏ざんに乗りましょう

★悪い例

荷物を持っての昇降

またがっての使用

天板に乗る
天板に座る

開き止めをかけていない

身を乗り出す

悪い例イラストは、厚生労働省「小売業における労働災害防止のポイント ～安全で安心な職場をつくるために～」より